



岩沼市から行政視察

建設・産経常任委員ら14人が

市政について話し合い交流を深めた

婦人活動を研修に

備前市から市連合婦人会へ

南園市の婦人会活動を研修にと六月六日、備前焼で知られる岡山県備前市の婦人協議会（永原繁子会長）の役員ら九人が、市連合婦人会（西森律会長）を訪問。社会福祉センターで、それぞれの活動について話し合いました。

これは、市政会議など本市の婦人会活動が特色あるということ、県社会教育課の紹介で実ったもの。意見交換では、組織強化の問題や市政会議の内容、ボランティア

活動などの取り組みについて、二時間半にわたって熱心に討議を行いました。

西森会長は「このような機会を得て、私たちもとても勉強になりました。特に、備前市では若い婦人が積極的に参加しているのが印象的でした」とのこと。

一行は、その後婦人会の役員らの案内で、長尾鶏センターや篠原のしよぶ園などを見学しました。

本市の姉妹都市、宮城県岩沼市から六月六日、議会の建設・産業経済常任委員ら十四人が、本市へ行政視察に訪れました。岩沼市と本市は、県都に隣接した空港都市として市勢が似通っていることから、昭和四十八年七月に姉妹都市の縁を結び、間もなく十一年目を迎えようとしています。今回は、岩沼市議会の議員も多く代わり、姉妹都市の南園市を中心に、四国全体の行政視察を行うことになったもの。

一行は、岡崎俊一議長らが案内し、午後五時市役所へ到着。小笠原市長、金堂久喜前市長らが、歡



長尾鶏センターを訪れた備前市婦人協議会の一行

迎のあいさつを述べた後、同行してきた八島元悠助役が「南園市は、ハウス園芸の先進地として学ぶことも多い。風土の違いはありますが、今後も親善の輪を広げていき

中西一郎総務長官

小集落整備事業の現地を視察

昭和五十七年度から、同和対策事業として進めている小集落整備事業について五月三十一日、中西一郎総務長官、佐藤良正地域改善対策室長らが来庁、事業の進展と現地視察に訪れました。

まず、市役所五階会議室で概要説明。それには、土佐山田町、赤岡町、吉川村の各首長も出席し、小笠原市長が代表して、本市の事業の現状や問題点など、また三町

たい」とあいさつ。

市の財政事情や行政施策などについて勉強し、交流を深めました。

村の概要についても説明しました。それに答え、中西長官が「環境整備など、大変進んだところもあれば、地域によってはまだまだ残されたところもあるようです。今後、皆さんの意見をもとに、きめ細かな対策を考えていきたい」とあいさつ。

その後、環境整備が望まれる現地、小集落整備事業で新築された改良住宅などを視察しました。



改良住宅を視察する中西総務長官